

(様式1)

視 察 報 告 書

平成28年6月10日

鳥取市議会議長 房 安 光 様

議 会 運 営 委 員 会
委員長 下 村 佳 弘



本委員会は、下記により委員を派遣し、行政視察（調査）したので、その結果を報告します。

記

1 期 間	平成28年4月12日から平成28年4月14日まで
2 派 遣 先	滋賀県大津市・三重県四日市市・大阪府堺市
3 視 察 内 容 (調査)	大津市： <ul style="list-style-type: none">・大学連携について・議会ICT化について・大津市議会BCPについて 四日市市： <ul style="list-style-type: none">・議会ICT化について・通年議会について・議会モニターについて 堺市： <ul style="list-style-type: none">・予算・決算の審査手法について・委員間討議について・議場及び委員会室について
4 派 遣 委 員 の 氏 名	委 員 長 下村佳弘 副委員長 桑田達也 委 員 勝田鮮二・雲坂 衛、橋尾泰博、石田憲太郎 岡田信俊・寺坂寛夫・山田延孝・ (房安光議長・田村繁巳副議長)
5 委 員 会 所 見	別添のとおり
6 参 加 者 所 見	別紙のとおり

議会運営委員会行政視察（大津市・四日市市・堺市）所見等

大津市

・先進的なICT化の取り組みは情報の共有化や伝達の即時化、議会運営の効率化に大きく寄与しており、市民にわかりやすい議会運営になっていると感じた。また、大学連携については議会の政策提案能力の向上にとって有意義な制度と感じた。議会BCPは、現在本会議でも検討を進めているところであり、参考となる事例であった。

・大学連携については、積極的に大学との協力体制を行っておられ、インターンシップ生徒の意見交換会や朝、学生と一緒にビラ配りなど取り組まれていた。ICT化は範囲が広いことなどから、庁舎建設に合わせ一括発注（外部委託）してしまうと、費用だけかさんで失敗することが多い。実際利用する議会運営委員会や議会事務局で考え行った方が「ズレ」がなく、安価のようだ。またタブレット導入について大津市では、平成26年11月通常議会より、ペーパーレス化と会議運営の効率化を図るため、災害時等の携帯性を重視しアイパッド64G（B5サイズ）を執行部と合わせ74台をauから購入。通信料は74台分148Gで一括契約。料金はタブレット代（24か月分割）と通信料合計で1人当たり6千円と大変格安であり、議員の場合、半分を政務調査費から支払っているとのこと。また大型スクリーンとテロップの導入についても、効果として情報公開がさらに進み、アクセス数の増加にも貢献しているとのことであり、本市においてもこのタブレット導入により、市民の議会への関心へ向けた効果を十分期待したい。なお、経費削減及び業務効率については年間で少なくとも速記者110万円、紙代200万円（印刷代、トナー代含まず）の経費が削減できたとともに、本議会の事務局4名（マイク、カメラ、テロップ、時間）が導入後1名ですべてできるようになり、業務の効率化が図られているとのことであり、このICT化への取り組みは本市において多いに参考となるものであった。最後に議会BCPの取り組みについては非常に先進的なものであったが、本市の取り組みについては、まだまだ十分議論する必要がある、もう少し時間をかけることが大事であると感じた。

・大学連携、議会ICT化、議会BCPのいずれについても大変先進的な取り組みをしている。開かれた、市民にわかりやすい議会を目指すことは、全国どの自治体も同じであるが、ICT化については、鳥取市は、新庁舎と併せて検討することが重要である。大学連携、議会BCPについては、大変参考になる事例であり、鳥取市議会としても検討し早期に取り組むことが必要であると思う。

・大学連携については若い大学生の意見を聞くことで議会内が活性化することができ、また大学生がより議会に興味を持つ期待もでき感心した。本市にも複数の大学が存在するわけで、取り入れる価値のある取り組みと感じた。議会I

ICT化については、本市にこのようなICT化を導入するタイミングとしては、新本庁舎完成時であると考えている。他市の事例を参考にし、最高のICT化を実現したい。議会BCPについては、災害対策に実質的かつ主体的に当たるのは行政であり、行政が初動及び緊急対応に専念できるよう配慮が必要であることを学んだ。議会は自らの役割を踏まえ、災害情報の迅速な収集等に当たり議会内の体制整備と併せて市との協力・連携体制を構築しなければならない。

・ICT技術導入については民間でも同様であるが、範囲が広いことから庁舎建設に合わせ一括発注してしまうと費用だけがかさんで失敗することが多い。実際利用する議会運営委員会や議会事務局で考え行った方が「ズレ」がなく結果的に安価になるとのこと。タブレット導入については1人当たり6千円と大変割安であり、議員の場合半分を政務調査費から支払っているとのこと。情報公開がさらに進み、アクセス数の増加にも貢献していることが窺え、本市においても十分期待したい。

・大津市議会は「会派を超えた議会」として議会の果たす役割を念頭に議会改革に取り組んでいる。議会BCP・防災基本条例など、議会自ら危機管理能力の向上をめざし、災害時初動対応の高度化を図るため、大学と連携した専門的知見を活用して策定している。さらに発災後の専決処分に見られる議会不要論を同年議会による予算審議で払拭。議会事務局職員も市災害本部から外して議会BCPに基づいた行動計画となっている。大規模災害であっても1カ月で平常時の議会体制を敷くとしている。現在鳥取市議会災害対応指針のとりまとめをしているが、発展的に議会BCPの策定をめざすべきと感じた。

・大学の専門的知見の活用は議会として検討すべき課題である。議会ICT化は新庁舎建設に合わせ、執行部に対し導入できる事業は積極的に要望すべきであり、議会も事前研修に取り組むべきである。議会BCPは、中核市移行に向けた時期であり、新しい鳥取市を考えた時、早急に策定作業に取り組むべきである。

・ICT化は議会の効率化だけでなく市民への情報提供、またペーパーレスによる環境への配慮等、これからの議会に欠かせない事業であると感じたが、市民に開かれた議会と自負していても市民がそう実感できるような仕組みも必要であると感じた。大学連携については、鳥取市の場合大学は2つあるが、そういった意識は両方に育っていないように感じる。先ず双方の接点を作り交流を始めるところから信頼関係を築くのが大切なことであると思った。

・各大学との連携により、政策課題についての意見交換や専門的見地から助言をもらうなど、政策課題への適切な対処と地域の発展に資することを目的とされており、本市の政策に生かしたいと思う。また議会のICT化についてはHPやインターネット中継、テレビ、フェイスブック等を積極的に活用し成果が出ていると思った。

四 日 市 市

・ICT化については、大津市議会と同様に議場の大型スクリーン設置により、市民から傍聴者やテレビ中継で議員の顔や資料の表示が見やすく「良くなった」との声があり鳥取市も新庁舎建設にあたって導入すべきと感じた。通年議会は議論を要するが、閉会時の緊急課題に対して議会審議が可能となり、市長の専決事項を減らす効果があることから、今後検討していく必要があると感じた。

・タブレット導入について四日市市はアイパッドを au から 40 台（議員のみ）2年間リース契約している。支払いはすべて公費のため、アプリは議運で認められたものしか入れられず、活用度が低いことが窺がえた。当初予算は約 420 万円/2年間とっていたが実質約 270 万/2年間で安く契約できたとのこと。サイドボックスを活用予定。大型モニターは大津市と同じくパナソニック。既存の音響設備とセットで約 2,900 万円で導入。他社から導入していればさらに約 4,000 万円かかっていたとのことで、既存の設備の更新時の交渉が重要であることが窺がえる。

・通年議会は我が国ではまだ少数であるが、緊急時の場合を想定するとこの方法も考える余地があると思う。モニターについては市民参画の立場からも有効であると考えているが、人選等については、工夫が必要であると考えている。鳥取市の今後の考え方として、通年議会については参考程度と考えるが、モニターについては、推薦方法等議論の余地があると感じた。ICT化については、他の地方議会と比べかなり進んでおり参考とすべきと感じた。

・制度発足までの経緯としては、平成 16 年度に議長の発案を受け、各派代表者本会議で議論を重ね、市議会モニター制度の設置に至った。仕事内容としては、本会議や常任委員会等を可能な範囲で傍聴もしくはケーブルテレビでの中継を視聴していただき、文書で意見を求めたり、研修会や意見交換会等で意見を述べていただいたりするもの。モニターの推薦方法としては、地区市民センターの館長に各 1～2 名の推薦を依頼しておられる。モニターからの意見をもとに改善した事項も多くある。議会の傍聴に関する事、市議会の広報等に関する事、四日市市民自治基本条例に関する事等があり、モニターの役割は大きいと感じた。

・登壇では PC、OHP、タブレットを連動させ、大型スクリーンへ資料を映し出すことができ、傍聴市民にも大型スクリーンで同じ資料が見れ、またインターネット画像でも同じ資料を見られることなど大変有効であるとのこと。また、質問席には発言時間を秒単位まで表示できるようになっており、大変有効活用されており、鳥取市においてもぜひ導入すべきことだと考える。

・通年議会については、災害時の対応を迅速に進める上で有効であるとともに、自治法 179 条の「長の専決処分」で「議会を招集する暇がないと認めるとき」

云々とある事項を可能にする。さらに各市とも常任委員会の活性化が図られていることから今後積極的に検討すべき。通年議会によって議員の多忙感が増すのではないかと疑念については各人の主観であり問題はないように感じた。

・今後の検討課題ではあるが、通年議会の導入を検討するには、メリット・デメリットの検証が重要である。議会モニター制度については、市民目線で議会、市政をチェックしていただくことにより、議会が気づかない視点を提言していただける可能性があり、検討していきたい。

・鳥取市でも通年議会については実施に向かって検討を始めるべきである。また反問権についても、反論も含まれ論戦の活発化に寄与していると思われた。シティーミーティングについては、広く参加を促すため休日の開催やテーマを決めての開催、また特定の組織等との話し合い等、市民参加への努力を色々知恵をしぼってやられている姿は大変参考になった。

・通年議会については災害時など突発的な事態に対し、議会が敏速に対応をとることが可能となるなど、議会活動の活発化により、市民の議会に対する関心度や満足度を上げることに繋げるなど大いに参考となった。議会モニターについても、モニターからの意見をもとに改善された事項がたくさんあり本市も市政に反映できればと思った。

堺 市

・円形議場は、総面積が大きくなることもあり、鳥取市の新庁舎建設にあたっての議場設計では、よく検討しなければならない形状だと感じた。堺市議会では、平成 25 年 11 月議会より請願・陳情の扱いとして、提出者が意見陳述を希望した場合、委員会が認めれば委員会において意見を述べる機会を設けている。鳥取市議会においても検討してみてもどうかと感じた。

・予算・決算審査特別委員会の取り組みについては、ほとんど本市での取り組みと同様であった。また、委員間討議についても、調査及び審査の充実のため、必要に応じて委員間討議を行うとされているが、通常はあまりなく、重要案件での場合に討議されており、本市の場合庁舎特別委員会などの重要案件が多く、同様の感じであった。議場については、やはり体面的な議場の方が質疑と答弁についても自然な感じがする。

・委員間討議、予算決算の審査手法については、発言時間が鳥取市と異なっているが、内容的にはほぼ同じ考え方のもとに運用されている。円形議場については、短所長所がそれぞれあるが、一般的には、現在各地方自治体で取り入れている方式（鳥取市も同じ）が適しているものと思った。

・堺市の議場は円形である。導入の経過としては、欧米では円形議場が多く、互いの顔を見ながら議論できる利点があげられる。円形としたことにより議員

間での討議が積極的に促されるようになったようだが、一部の議席から市長席が見えないなどの難点もある。傍聴席から発言者等の様子が良く見えるように、大型スクリーンも設置されている。また、車いす傍聴席や幼児等と保護者用に、親子室の設置もあり感心した。本市の新本庁舎の参考になる点が多方面で見られ、勉強になった。

・円形議場については、全員の顔を見ることができ、大変有効な形であり、ぜひ鳥取市の新庁舎建設に合わせて円形議場にしたい。また、市民が円形議場の議員席に座り、議員が執行部席に座って、議会報告会を行っており、後半は委員長がファシリテーターを務めWGを、事前に希望委員会を複数聞き、ローテーションで行っているなど、大変参考になった。

・堺市議会是全国的にも少ない円形議場を採用しているが、鳥取市議会の議場を検討する場合、ICT化の推進、議員間議論の活発化、傍聴席からの見やすさなど、議長席からの死角をなくすなど、現状と今後の課題を考えれば、円形または馬蹄形の議場が望ましいのではないかと感じた。

・どのような議論がなされ合意がされたのか、情報提供を含め委員間討議は重要であり、導入にあたって具体的検討を進めていきたい。円形議場の良い点もあるが、スペースなど総合的に判断して、現在進めている新庁舎実施計画に賛成する。

・委員間討議については、当日会議中に申し出て委員の同意により自由に討議できる本市の方式が、より活発な議論ができるのではと感じた。予算・決算の審査手法については、本市では総括質疑のあと分科会であるが、堺市では分科会の後総括質疑であり、本市と逆の順番に審査している。総括質疑では分科会レベルの質疑も多々あり、分科会では審議できない全体レベルの議論や分科会で議論となった問題点を総括質疑で追及する方法の方がより深い議論ができるのではないかと感じた。

・円形議場について、デメリットは議長席、議員席の端から一部が見えないことだそうだが、他に多くのメリットが感じられ参考にしたいと思った。